

令和元年度 日本大学スポーツ科学部 学部研究費 研究実績報告書

所属： スポーツ科学部 競技スポーツ学科
 資格： 准教授
 氏名： 谷口 郁生

研究課題名	米国及び英国の大学・大学院の初年次教育における情報教育について
研究目的及び研究概要	<p>コンピュータやインターネットなど、情報科学の中心地であり、そして現在も先進的な取り組みをしている米国を中心として、特に初年次教育を中心に大学学部・大学院における情報教育の導入・実施状況についての調査及び各種資料の収集・分析を行うことで本学、ひいては日本における大学学部・大学院での初年次教育における情報教育の再評価と改善に向けた提言を行うことを目的とする。</p> <p>米国・英国の学部教育におけるリベラルアーツとしての情報教育の導入・実施状況として、具体的な学科目化あるいは単位化の状況や、科目毎のTAやメディアセンター等のサポート体制について、また実際の授業でのICT技術の展開や施設・設備の充実度を過去の資料を含め調査・検証する。</p>
研究実績の概要	<p>本研究においては、初年次教育における情報教育についてアンケート形式で情報教育関連担当部署宛にアンケートの送付・回収を行い、集計・分析をするとともに、施設設備を含め、実際に現地での視察を視察することで内容を補足することに努めた。</p> <p>実地での視察に際しては、米国西海岸のUCバークレーを皮切りに、中西部、東海岸のハーバードまで横断して4都市7大学、そして英国のオックスブリッジを含む3大学を訪問し、情報を収集した。実地調査については、令和元年度短期B海外派遣研究員報告書として概要をまとめさせていただいた。</p> <p>本研究により得られた成果としては、米国7大学と英国3大学それぞれのコンピュータやインターネットの利用に関して、学生に対して提供されているサービスの内容として、主に初年次教育としての情報教育やそのための施設・設備という観点から調査をしてきたが、ある程度は予想してはいたことだが、イリノイ大学など一部の例外を除けば、情報教育についての「初心者」「初学者」用のコースそのものが提供されておらず、たとえ提供されてはいても、UCLAやイリノイ大学のように数時間単位のワークショップという位置付けであった。ケンブリッジ大学や特にオクスフォード大学のように幅広くIT関連のトレーニングコースを設けている大学もあるが、これは例外かもしれない。それと言うのも、今回視察した大学全てにおいて共通してオンラインの学習システムであるLinkedIn Learningが導入され、学生は必要なコンピュータスキルについては、自学自習して修得し、その上で授業に臨むというスタイルが定着しているのからだ。</p> <p>今後の課題として、現在世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルスの蔓延によって、ハーバード大学やMIT等は、いち早く大学のロックアウトとオンライン・インストラクションに移行し、その危機管理体制の高さを伺い知ることが出来るが、今回の初年次教育における情報教育の導入状況については、改めて本研究の追加のアンケートとして、危機管理体制におけるICTの利活用とそのための情報教育について調査しているところである。</p> <p>上記大学BCPにおけるICT利活用の問題も含め、本年情報教育系学会にて発表を準備している。</p>